

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科		言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名		言語学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		一年次		学期及び曜時限	後期 金曜1限	教室名	406教室
担 当 教 員		野間 純平	実務経験と その関連資格	2016年4月より、島根大学法文学部にて日本語学に関する授業科目を担当している。 博士(文学)			
《授業科目における学習内容》 言語はコミュニケーションを図り、思考をめぐらせるのに欠かせないものである。人間だけが高度な言語能力を有しており、言語の本質を理解することは人間の知的能力を理解することにつながる。本科目では、言語聴覚士として必要な、言語に関する理解を深めるため、様々な観点から言語を分析する方法を学ぶ。言語の特徴に関して、音声学、形態論、統語論、意味論、語用論など言語学の諸分野の観点から理解できる。							
《成績評価の方法と基準》 筆記試験(100点)で評価する。							
《使用教材(教科書)及び参考図書》 【教科書】「言語学入門－これから言語学を始める人のための入門書－」 研究社							
《授業外における学習方法》 予習:教科書の該当箇所を読んでおく 復習:授業内で取り上げた、あるいは課題として出した練習問題を解く							
《履修に当たっての留意点》 普段自分や周囲の人が使っていることばに注目する習慣をつけてください。 国家試験の過去問題も取り上げますが、正解するだけでなく、なぜそれが正解なのか説明することを常に意識してください。							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	恣意性や二重分節といった言語一般の特性について理解する		教科書	次回までに課題の練習問題を解いておく	
		各コマにおける授業予定	言語の特性				
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	実際に発声しながら、声を出す仕組みを理解する		教科書	教科書第5講を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	音声学と音韻論:音声器官				
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	実際に発声しながら、日本語の音声の特徴を記述する		教科書	教科書第6講を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	音声学と音韻論:母音と子音				
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	音素の考え方を理解する		教科書	教科書第7～8講を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	音声学と音韻論:音素				
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	音節とモーラの違いを理解する アクセントの仕組みを理解する		教科書	教科書第9講を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	音声学と音韻論:超分節要素				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	文法の最小単位である形態素の性質と種類について理解する	教科書	教科書第10～11講を読んでおく
		各コマにおける授業予定	形態論：形態素と異形態		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	単語が作られる仕組みとそのバリエーションについて理解する	教科書	教科書第12講を読んでおく
		各コマにおける授業予定	形態論：語形成		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	文の構造を分析し、説明できるようになる	教科書	教科書第14講を読んでおく
		各コマにおける授業予定	統語論：統語構造		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	格やヴォイスといった日本語の文法事象について理解する	教科書	あらかじめ練習問題に目を通しておき、授業後に復習する
		各コマにおける授業予定	統語論：日本語の文法事象(1)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本語における連体修飾節について理解する	教科書	あらかじめ練習問題に目を通しておき、授業後に復習する
		各コマにおける授業予定	統語論：日本語の文法事象(2)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	語の意味を分析するための概念を理解する	教科書	教科書第18～19講を読んでおく
		各コマにおける授業予定	意味論：“意味”の意味、語の意味		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	語を超えた句や文の意味を分析するための概念を理解する	教科書	教科書第20～21講を読んでおく
		各コマにおける授業予定	意味論：比喻と連語、文の意味		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	実際の発話において意味が解釈されるプロセスについて理解する	教科書	教科書第22講を読んでおく
		各コマにおける授業予定	語用論：発話の意味		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	待遇表現を中心に、実際の運用におけることばの特徴を理解する	教科書	教科書第23講を読んでおく
		各コマにおける授業予定	語用論：場面と言語表現		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会的な属性や場面によることばのバリエーションについて考える	教科書	教科書第24講を読んでおく
		各コマにおける授業予定	言語と社会		